



あさきた神楽発表会
3月8日(日)午前9時半開演
区民文化センター

安佐北区では、市内で最も多い14の神楽団が活動しており、神楽は区の誇る伝統芸能です。

今年で14回目を迎えるあさきた神楽発表会では、各神楽団が日々練習に励んだ成果を、地元への感謝の思いを込めて披露します。今回は、同会に出演する「岩上八幡神社神楽保存会」に話を聞きました。
☎819-3904、㊟815-3906

歴史を受け継ぐ“神楽”

神楽は、毎年秋に、五穀豊穡や地域の繁栄などの感謝の気持ちを表す舞を地域の氏神へ捧げる、日本古来の伝統芸能です。今日では、地域の祭礼以外にも、公演や大会が盛んに開催され、地域の伝統芸能として幅広い世代に親しまれています。



安佐北区の神楽の特徴は、古来から伝わる十二神祇神楽と、旧舞、新舞が継承されていることです。十二神祇神楽は、儀式的な性質が強く、ゆったりとした舞が特徴です。江戸時代の終わりごろの姿を伝えるといわれ、高陽地区で継承されています。

一方、旧舞、新舞は新たな筋書きや演出を加えて発展した舞と、速い調子で華やかな所作が特徴です。島根県の石見地方が源流といわれており、白木・可部・安佐地区で継承されています。

ふるさと 故郷の文化を伝える

岩上八幡神社を拠点に活動する「岩上八幡神社神楽保存会」は、十二神祇神楽を継承する団体の1つです。会長の大原靖さん(左写真)を中心に、子どもの頃みんなで親しんだ神楽を



復活させようと、昭和54年から保存会を立ち上げ、活動しています。

同会では、毎年秋に行われる祭りに向け、夏に小・中学生を中心に舞子を募集し、10月の八幡神社秋祭りで神楽を奉納しています。「伝統芸能、故郷の文化を後世に伝えていくのがわれわれの使命です」と力強く語る大原さん。今後も神楽の輪を地域に広げていきます。

伝統を楽しむ

あさきた神楽発表会では、普段は個々で活動している各神楽団が一堂に会するため、地域の神社でしか見ることができない十二神祇神楽も鑑賞することができます。「特に今回公演する“煤掃き”は、他で演じることが少なく、大変珍しい演目です。子どもたちが一生懸命取り組む姿を見てもらいたい」と大原さんは笑顔で語ります。伝統芸能“神楽”が織りなす華やかな世界をぜひお楽しみください。



「煤掃き」

プログラム

上演時間	演目(出演団体)
9:50~10:05	煤掃き(岩上八幡神社神楽保存会)
10:10~10:45	塵倫(亀山子供神楽)
10:50~11:35	天神記(鈴張神楽団)
11:40~12:25	滝夜叉姫(あさひが丘神楽団)
13:00~13:45	安珍清姫(亀山神楽団)
13:50~14:30	大楠公(飯室神楽団)
14:35~15:05	五篠の大橋(綾西神楽団)
15:10~15:55	紅葉狩(宮崎神楽団)
16:00~16:50	大江山(宮乃木神楽団)
16:55~17:45	八岐大蛇(あさきた神楽団)

☎高校生相当年齢以上1,500円、小・中学生500円
※入場券は当日午前8時から会場で販売します
※会場内での写真・ビデオ撮影は禁止です
※来場の際は、公共交通機関をご利用ください
※区役所⇄区民文化センター間を往復する無料シャトルバスを運行します(区役所発の始発便は午前7時50分発予定、午前9時半までは20分間隔で運行し、以降は随時運行します)

昨年の台風19号で被災された方を支援するため、会場に募金箱を設置します。集まった募金は入場料の一部と合わせて災害復興支援のために使用します。

フォトコンテスト受賞者発表

昨年秋に、可部の公式Instagram開設を記念して開催したフォトコンテストのグランプリが、@sukko501029さんの作品(右写真)に決定!

他の優秀作品は、右記の二次元コードからご覧いただけます。ぜひ可部の個性豊かな写真の数々をお楽しみください。
☎819-3904、㊟815-3906

